

Nagasaki University  
Collection

長崎大学コレクション

No.3



## 聴胸器

考案：ラエンネック

(製作年不明・1848年モーニック伝来)

フランス人医師ラエンネックが考案した最初期の聴診器。一見、木筒のように見えますが、3つに分解でき、組み立てられるようになっています。ヨーロッパ産のクルミの木でできており、1848年にモーニックが日本に持参しました。吉雄圭齋に贈ったといわれており、日本最古の聴診器と伝えられています。※分解した聴胸器は複製品です。

(長崎大学附属図書館医学分館所蔵)

Choho

長崎大学広報誌[チョーホー]

Vol.75

2021年4月1日発行

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/>